

第8回古代歴史文化賞特別賞の選定について

1. 趣旨及び対象

国民の古代歴史文化に関する関心を高めるため、歴史文化に関する興味・関心の拡がりや理解の促進などに大きく貢献した人物、作品及び活動などを、「古代歴史文化賞特別賞」として顕彰する。

2. 第8回古代歴史文化賞 特別賞受賞者

早川和子氏（はやかわ・かずこ）

3. 早川和子氏プロフィール

(1) 生年・職業

1953年（昭和28）宮崎県生まれ、京都府在住。考古イラストレーター

(2) 略歴

東京のアニメスタジオ、マッドハウスで「天才バカボン」「ギャートルズ」などの動画を担当。そののち、京都府埋蔵文化財調査研究センターの整理作業員を経て、1986年頃（昭和61）から考古復元イラストを描くようになる。

(3) 業績

復元画は、奈良文化財研究所をはじめ、全国の歴史博物館などで解説パネルや展覧会図録などに利用されてきた。一般向け図書では、『日本歴史館』（小学館）、『古代史復元』（講談社）など、学校用教科書では、小学校『新しい社会6 歴史編』（東京書籍）がある。

2007年（平成19）から2008年（平成20）には、早川氏のこれまでの復元画を集めた巡回展「絵でみる考古学 早川和子原画展」が全国12カ所の博物館で開催された。展覧会図録は『よみがえる日本の古代』として小学館から刊行されている。

4. 選定理由

アニメーション制作で培われた技術をもとに、遺跡だけからではイメージできない古代の人々の衣食住・信仰・景観などをイラストにより復元されてきた。その作品は、リアルであると同時に、古代人の生き生きとした表情を描き、親しみやすいものであり、古代史の理解と普及に大きな功績をあげられた。

※過去の特別賞受賞者

第3回古代歴史文化賞（2015年、平27）において、上田正昭氏（故人、歴史学者）が受賞。

※特別賞の選定の手順

古代歴史文化普及協議会（三重県、奈良県、和歌山県、島根県、宮崎県）に加盟する各県の推薦にもとづき、古代歴史文化賞選定委員会において審議・決定する。



※3 出雲国府の仏教齋会 (早川和子画)

131

島根県立古代出雲歴史博物館企画展図録『出雲国誕生と奈良の都』(2009年)

絵画展
 米作り、はじめました。
COME on
 山陰弥生ライフ



同上『COME on 山陰弥生ライフー米作り、はじめました。ー』(2021年)